

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム戦略課
 担当名: ①最適化②業務効率化
 内線: 2282 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P17	デジタル県庁推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	電子県庁推進費	
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	なし			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	9
						分野施策	0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	9-1
1 事業概要 業務及び県民サービスの着実なデジタル化と新たな行政サービスの創出を実現するため、県庁業務のデジタル化を推進する。 (1) 次期業務基幹システム群構築業務 執行節減、契約差金による減額 △953,611千円 (2) 次期業務基幹システム群構築業務 執行節減による減額 △ 56,001千円 (3) 次期県庁LAN運用業務				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 次期業務基幹システム群構築業務 1,117,474千円 次期業務システムの設計及び構築を行う。 イ 次期業務基幹システム群構築業務(債務負担行為) 1,151,115千円 次期財務会計システムの構築を行う。 ウ 次期県庁LAN運用業務 190,000千円 庁内で使用するネットワークの運用を行う。 (2) 事業計画 ア 令和3～4年度に設計を行い、令和4～6年度に構築、令和7年度に稼働する。 イ 令和4～6年度に構築・稼働する。 ウ 令和3年度に設計を行い、令和4～5年度に構築、令和5～10年度に運用する。 (3) 事業効果 ア ペーパーレス化を前提とした業務の実現及び効率的な業務並びに運用保守の実現。 イ ペーパーレス化を前提とした業務の実現及び効率的な業務並びに運用保守の実現。 【活動指標(アウトプット)】各基幹システムの本稼働 100% 【成果指標(アウトカム)】各システムで行っている業務改善、業務効率化を実現 ウ ペーパーレス化を前提としたネットワークの構成となり、テレワーク等の拡充に対応可能となる。 (4) 補正予算の概要 コミュニケーション基盤のライセンス調達の入札差金等による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8.5人=80,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		諸 収 入							
決定額	△1,009,612							△1,009,612	2,458,589
現計額	3,468,201	53,208						3,414,993	

事業内訳書

事業名	デジタル県庁推進事業費		
単位事業名	次期業務基幹システム群構築業務	予算額	△ 953,611千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△953,611	—	
合計	△953,611	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△132,696	—	コミュニケーション基盤保守運用業務の契約差金等による減
使用料及び賃借料	△820,915	—	コミュニケーション基盤のライセンス調達等の契約差金による減
合計	△953,611	—	

単位事業名	次期業務基幹システム群構築業務（債務負担行為）	予算額	△ 56,001千円
-------	-------------------------	-----	------------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△56,001	—	
合計	△56,001	—	

単位事業名	次期業務基幹システム群構築業務（債務負担行為）	予算額	△ 56,001千円
-------	-------------------------	-----	------------

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△56,001	—	コミュニケーション基盤構築業務の執行節減による減
合計	△56,001	—	